

医療従事者が知っておきたい 外国人患者さんへの接し方 ～医療通訳について考える～

日時：平成27年10月23日(金)
18:00～19:30

参加費
無料！

会場：慶應義塾大学信濃町キャンパス
孝養舎202教室

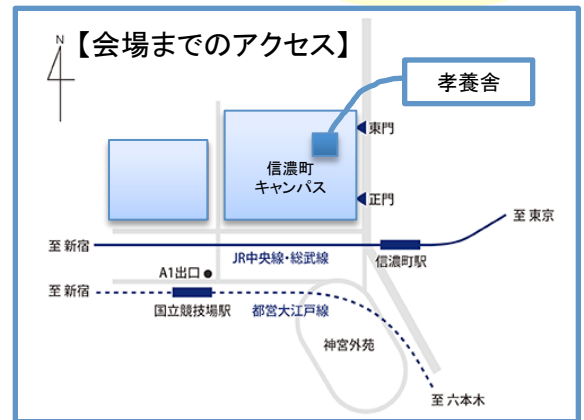
どなたでも参加
できます！！

今回のテーマは“医療通訳”です。

日本を訪れる外国人は年間1千万人を超え、
職場で町で外国人と出会うことも多くなったと
実感しているのではないのでしょうか。

医療現場において「言葉の壁」は極めて重大な課題であり
医療通訳には大きな役割が期待されています。
医療従事者として外国人患者さんと接する際には
医療に対する理解の違いや文化の違いにも
考慮する必要があります。

2020年に東京オリンピックの開催が迫った今
医療従事者として知っておきたい外国人患者さんへの接し方について考えてみませんか？



講師紹介

特定非営利活動法人多文化共生センターきょうと
看護師・保健師・医療通訳コーディネーター

高嶋 愛里 氏

多言語医療電話相談・無料相談会の活動を経て
医療通訳者の養成・派遣をおこなう
医療通訳コーディネーターとして活動中

